

計量法トレーサビリティの利用促進と 登録事業者（JCSS 登録事業者）紹介の新聞特集 ご案内

いつもお世話になっております。

計量法トレーサビリティの仕組みと認定事業者（JCSS 認定事業者）の皆さまのお仕事の繁栄は、そのまま日本の経済と産業の振興、文化の発展につながります。

この制度の周知と利用を促すための一助として、私どもの「日本計量新報」の紙上と WEB サイトの「計量計測データバンク」ほかの、積極的に取り上げて、継続的に普及宣伝の行動をしていく考えであります。

つきましては、別途案内の「計量法トレーサビリティの利用促進と認定事業者（JCSS 認定事業者）紹介」の新聞特集に広告をお出しいただきますように、お願い申し上げます。

■特集専用 WEB サイトを公開しております。下記の URL からご覧ください。

http://www.keiryou-keisoku.co.jp/jcss/shimbun_1.htm

■企画内容

- ①計量管理を基礎で支えるトレーサビリティの重要性
- ②JCSS 登録事業者制度の紹介
- ③広告を出稿していただいた各登録事業者の紹介(事業内容、特長など)
- ④同特集は新聞掲載後に当社 Web サイト「計量計測データバンク」にも掲載します

■広告のお願い

(1)今後の発行予定日

平成26年 2月23日(広告原稿締切	2月17日午後3時まで
平成26年 3月 2日(広告原稿締切	2月21日午後3時まで
平成26年 3月 9日(広告原稿締切	3月 4日午後3時まで
平成26年 3月16日(広告原稿締切	3月10日午後3時まで
平成26年 3月23日(広告原稿締切	3月17日午後3時まで
平成26年 3月30日(広告原稿締切	3月24日午後3時まで
平成26年 4月 6日(広告原稿締切	3月31日午後3時まで
平成26年 4月13日(広告原稿締切	4月 7日午後3時まで
平成26年 4月20日(広告原稿締切	4月14日午後3時まで
平成26年 4月27日(広告原稿締切	4月21日午後3時まで

(2) 広告の申込 各発行日の〆切をご確認のうえ、お申込みください。

(3) 広告の掲載料金 別紙の広告お申込み書をご覧ください。

※そのほか広告に関しましてはお気軽にご相談ください。(担当:小野、高松)

TEL03-3295-7871 FAX03-3295-7874 電子メール edit@keiryou-keisoku.co.jp

【JCSS 制度の利用促進支援サイトのご案内】

新聞特集による「計量法トレーサビリティの利用促進と認定事業者（JCSS 認定事業者）紹介」のほか、インターネット利用の事業者紹介のサイトも開設しております。こちらのご利用もお願いします。詳細は電子メール、FAX、電話などでお問い合わせください。料金のお見積もりをいたします。

<http://www.keiryou-keisoku.co.jp/jcss/jcssweb.htm>

株式会社 日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町 3-11-8
武蔵野ビル 〒101-0054
TEL03-3295-7871 FAX03-3295-7874
edit@keiryou-keisoku.co.jp

計量法トレーサビリティの利用促進と 登録事業者（JCSS 登録事業者）紹介の新聞特集 広告申込書

■ 広告の種類とサイズおよび掲載料金（今回は特別割引料金となります）

広告の種類	天地寸法	左右寸法	通常掲載料金	特別割引料金
A. 3段通し	104mm	244mm	157,500円	110,250円
B. 4段通し	140mm	244mm	210,000円	147,000円
C. 5段通し	175mm	244mm	262,500円	183,750円
D. 3段1/2	104mm	121mm	78,750円	55,125円
E. 4段1/2	140mm	121mm	105,000円	73,500円
F. 5段1/2	175mm	121mm	131,250円	91,875円

広告原稿作成

- 当社でも広告を作成いたします。お気軽にご相談下さい。
- 当社では新聞製作にDTP(電子編集システム)「EDIカラー」を採用しておりますので、広告原稿はデータでも受け付けております。
- 広告原稿作成の際はEPS形式ファイルをお願いいたします。また文字はできるだけアウトライン化して下さいますようお願いいたします。
- 使用のアプリケーションは、イラストレーション、フォトショップです。それぞれファイル保存の際はEPS形式をお願いいたします。
- 写真、製品名や社名等の指定ロゴマーク・文字がありましたら郵送にてお送り下さい。なお原稿作成につきましては、作成費を別途申し受けます。
- 詳しくは当社担当の者(企画課 小野)にお聞き下さい。

■ 広告サイズ（ご希望サイズの記号に○印をつけてください）

A , B , C , D , E , F

御社名

ご住所

ご担当

TEL

FAX

eメール

■ ご返事はFAXまたは E-mail をお願いいたします

FAX 03-3295-7874 / E-mail:edit@keiryoku-keisoku.co.jp

JCSS20周年記念シンポジウム開催

12月2日(月)、東京都千代田のイノホールで



シンポジウムのようす



展示会のようす

シンポジウムは「安全とあなたの未来を支えます」の5つの講演があった。講演は、さまざまな視点から、日本の

20周年迎えたJCSS 1993(平成5年)に創設されたJCSS(計量法トレーサビリティ制度)は、11月1日に20周年を迎えた。JCSSは計量標準供給制度と校正事業者登録制度で構成されており、校正事業者登録制度をNITE

認定センターが実施している。今後の発展を期待。経済産業省が開催した「新たな知的基盤整備計画」画及び具体的な利用促進に関する検討会(小野晃座長)で、計量標準に関する新たな整備計画・利用促進方策」が策定されて

産業技術環境局の安永裕幸審議官(産業技術・基準保証担当)があいさつした。

5つの講演でJCSSの今が明らかに。利用促進方策では、中堅・中小企業による計量標準の利用拡大、公設試験研究機関の活用による中小企業支援促進が求められている。

本シンポジウムをきっかけに、新たな計量標準ユーザーの開拓やJCSSのさらなる利用拡大に繋がることを期待される。

5つの講演。来賓として経済産業省



¥34,650(税別)

開いて、温度計マイ力の温度校正サービス(山形産肉標準室長丸野耕)▽講演5「計量標準開発の現状と今後のJCSSへの貢献(独産業技術総合研究所計量標準総合センター代表三木幸信)

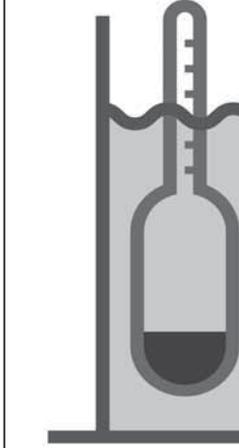
新たな出会いの場に。同時開催で、JCSS登録事業者による展示会を開催した。事業紹介コーナーや相談コーナーを設け、参加者同士の情報交換、交流の場として活用された。

今週の主な記事。JCSS20周年記念特集(1) 2011年度経産省(産)の重要経産産感 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

特集1 JCSS20周年 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

横田計器製作所校正センターは、認定基準としてJIS Q 17025(ISO/IEC 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機関(APLAC)及び国際試験所認定協力機関(ILAC)の相互承認に署名しています。

校正手法の区分の呼称	種類	校正範囲	最高測定能力 (k=2)
固体密度標準器等	シリコン単結晶	2,000g/cm ³ 以上 3,000g/cm ³ 以下	0.0001g/cm ³
	固体(金属・ガラスなどを含む)	3,000g/cm ³ 以上 22,000g/cm ³ 以下	0.0025g/cm ³
浮ひよう	密度浮ひよう(衡量法)	0.600g/cm ³ 以上 2,000g/cm ³ 以下	0.00020g/cm ³
	比重浮ひよう(衡量法)	0.600以上 2,000以下	0.00020
	酒精度浮ひよう(衡量法)	0vol%以上 100vol%以下	0.1vol%
	重ボーム浮ひよう(衡量法)	0重ボーム度以上 72重ボーム度以下	0.1重ボーム度
	日本酒度浮ひよう(衡量法)	-40日本酒度以上 30日本酒度以下	1日本酒度



横田計器製作所は、大正12年創業、昭和29年設立の会社です。液体に浮かべて、その比重を量る比重計を製作しています。弊社製品は、食料品や石油化学など様々な産業・分野で使用されており、詳しくは、yokotakeiki.co.jpをご覧ください

株式会社横田計器製作所 110-0006 東京都台東区秋葉原3-7 TEL: 03-3251-7088 FAX: 03-3251-7084 WEB: http://yokotakeiki.co.jp/

JAMP 確かな信頼を提供するため 技術と情報を提供します

一般社団法人日本計量振興協会 試験・校正センターは「力」「温度」「質量(分銅・おもり)」区分の認定事業者です。JCSS校正機関に必要な技術を維持し、適正な校正及び検査の業務を推進して参ります。

力計

- 環状ばね力計
- ロードセル
- 容積型力計 他

校正範囲:
圧縮力: 50N~3MN
引張力: 50N~50kN

質量計

- 分銅・おもり

校正範囲:
1mg~20kg

各種はかり(JCSS対象外)
校正範囲:
1000kg以下

一軸試験機

- 圧縮試験機 他
- 引張試験機

校正範囲:
圧縮力: 50N~5MN
引張力: 0.5N~300kN

長さ計

- マイクロメータ: 25mm以下
- ノギス: 600mm以下
- ダイヤルゲージ: 10mm以下

ブロックゲージ・直尺 他

温度計

- ガラス製温度計(全没式・浸没線付)
- 石油類試験用温度計 他

校正範囲:
-50℃~350℃

トルク計

- トルクレンチ: 1500N・m以下
- トルクドライバー: 10N・m以下
- トルクゲージ: 2N・m以下 他

その他、プッシュプルゲージ、テンションゲージ、家庭用特定計量器(ヘルスメーター、キッチンスケール)の試験・校正等も行っています。

校正結果の解釈 計量相談等もお受けしております。是非ご相談下さい。

〒162-0837 東京都新宿区納戸町25-1
URL: http://www.nikkeishin.or.jp/
試験・校正センター
TEL: 03-3269-3232 FAX: 03-3269-4755
E-mail: center@nikkeishin.or.jp



計測と科学 毎週日曜発行 日本計量新報社 東京都千代田区神田錦町3-11-8 (秋葉野ビル) 〒101-0054 TEL: 03-3265-7871 FAX: 03-3265-7874 http://www.keiryoku-keisaku.co.jp/ 郵便口座 00140-5-12935 請求料年間25,000円(消費税別)

Yamato 清潔な環境を創造する 完全防水デジタル自動はかり

●防水・防塵等級IP68準拠
●オールステンレスボディ
●扁平入力が確かなセンター設計

UDS-1V2/N-WP 大和製衡株式会社 電話 078-918-5577

見本・JCSS特集紙面

計量法トレーサビリティの利用促進

JCSS 登録事業者を紹介

特集



JCSS20周年シンポ会場のようす

この精密さを確認できなくなる領域があり、多くの場合は計測器の精密さが高いほど大きなこととして認識されている。

JCSS校正一般校正による校正業務は幾通りかある。社会的に公示された証明書が添付されているときは、器差の検査は、粗みず、細みず、

■計測器の校正
そのような計量法などの法律による計量と計測の確かさを確保する道に別、計量と計測に関

■計量器の校正
このように計量法などの法律による計量と計測の確かさを確保する道に別、計量と計測に関

この精密さを確認できなくなる領域があり、多くの場合は計測器の精密さが高いほど大きなこととして認識されている。

指示計 記録計 調節計

www.sanwakeiki.com

温度・圧力 三和計器

TEL.03(5984)3362(代)

計量法に定められた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

■計量器の校正
このように計量法などの法律による計量と計測の確かさを確保する道に別、計量と計測に関

計量法に定められた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

■500名を超える人々が訪れた
JCSS 20周年記念シンポジウムには、座席定員500名のところに事務局などの関係者を含めると500名を超える人々が訪れる催しとなった。

■計量器の確かさは、確かさを確認の連続によって、確保される。確かさを社会的に確実に保証し、担保するしくみは、計量法が定めた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

■計量器の確かさは、確かさを確認の連続によって、確保される。確かさを社会的に確実に保証し、担保するしくみは、計量法が定めた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

■計量器の確かさは、確かさを確認の連続によって、確保される。確かさを社会的に確実に保証し、担保するしくみは、計量法が定めた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

■計量器の確かさは、確かさを確認の連続によって、確保される。確かさを社会的に確実に保証し、担保するしくみは、計量法が定めた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

計量の明日を拓く



株式会社 三光精衡所 〒125 0042 東京都葛飾区金町2-1-1 TEL.03 3607 2326 FAX.03 3607 2348

計量法に定められた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

世界を拓くヤマヨの巻尺

YAMAYO

ヤマヨ測定機株式会社

計量法に定められた検定期間やハカリの場合の検定期間の合間の定期検査などである。

分銅のJIS認証取得!

各種分銅 JIS認証取得 JCSS校正 トレーサビリティ

0296-43-7021

大正天びん製作所

あらゆる分野の指示計測から警報制御システム、JCSS校正まで

伝統と信頼で未来にチャレンジする!

旭計器工業株式会社

一般型圧力計、隔膜式圧力計、接点付圧力計、差圧計、圧力発信器、バイメタル式温度計、液封式温度計、熱電対、測温抵抗体、レベル計、制御盤、動力盤、計装盤

計量法に基づく圧力校正はお任せください

旭計器工業は計量法に基づく圧力のJCSS校正事業者です。専用の設備とスタッフが校正作業を行います。

JCSS 0301

旭計器工業株式会社

東京営業所/東京港区芝大門3丁目1番21号 TEL 03-46-5381 FAX 03-3436-5433

四国営業所/愛媛県新居浜市郷1丁目2番12号 TEL 0897-47-4351 FAX 0897-47-4352

特集

計量法トレーサビリティの利用促進

JCSS 登録事業者を紹介

株式会社横田計器製作所
JCSS 登録番号:0307

旭計器工業株式会社
JCSS 登録番号:0301

■お問い合わせ先

株式会社横田計器製作所 校正センター
〒110-0006 東京都台東区秋葉原 3-7
TEL : 03-3251-7088 FAX : 03-3251-7084
URL <http://www.yokotakeiki.co.jp/>
【登録に係る区分】密度・屈折率
【法律に基づく初回認定年月日または初回登録年月日】2013 (平成25) 年9月5日
【国際MRA対応初回認定年月日】2013 (平成25) 年9月5日
【校正手法の区分の呼称【登録年月日】】固体密度標準器等【2013 (平成25) 年9月5日】、
浮ひょう【2013 (平成25) 年9月5日】
【恒久的施設でおこなう校正/現地校正の別】恒久的施設でおこなう校正

■お問い合わせ先

旭計器工業株式会社 校正事業部
〒520-3106 滋賀県湖南市石部中央 3-6-1
校正事業部
TEL : 0748-77-3136 FAX : 0748-77-5673
URL <http://www.asahigauge.co.jp/>
【登録に係る区分】圧力
【法律に基づく初回認定年月日または初回登録年月日】2013 (平成25) 年5月23日
【校正手法の区分の呼称【登録年月日】】圧力計【2013 (平成25) 年5月23日】
【恒久的施設でおこなう校正/現地校正の別】恒久的施設でおこなう校正

校正手法の区分の呼称	種類	校正範囲	最高測定能力 (k=2)
固体密度標準器等	シリコン単結晶	2,000g/cm ³ 以上 3,000g/cm ³ 以下	0.0001g/cm ³
	固体 (金属、ガラスなどを含む)	3,000g/cm ³ 以上 22,000g/cm ³ 以下	0.0025g/cm ³
浮ひょう	密度浮ひょう (衡量法)	0,600g/cm ³ 以上 2,000g/cm ³ 以下	0.00020g/cm ³
	比重浮ひょう (衡量法)	0,600 以上 2,000 以下	0.00020
	酒精度浮ひょう (衡量法)	0vol% 以上 100vol% 以下	0.1vol%
	重ボーム浮ひょう (衡量法)	0 重ボーム度以上 72 重ボーム度以下	0.1 重ボーム度
	日本酒度浮ひょう (衡量法)	-40 日本酒度以上 30 日本酒度以下	1 日本酒度

■校正センターの御案内 (JCSS 校正)

このたび弊社校正センターは JCSS 校正事業者として登録されました。「密度・屈折率」JCSS 0307 は当校正センターの認定番号です。また、MRA とのサプライセンス契約により国際MRA対応認定事業者として認定を受けました。《ISO/IEC17025:2005 (JIS Q 17025:2005)》当校正センターでは、浮ひょう (浮きばかり) だけでなく、固体密度の校正もおこなえます。固体密度の校正は、日本では弊社が初めての登録認定となります。一般的な固体の校正はもとより、シリコン単結晶を参照標準としてのご提供もできます。これを機会に、弊社校正センターをご活用を頂きたく、ご案内申し上げます。

JCSS 校正 (衡量法・JCSS ロゴがトレーサビリティを証明します)

- A. 固体密度標準器等
1. 参照標準用シリコン単結晶 2. 固体 (金属、ガラス等) ※具体的にはご相談ください
- B. 浮ひょう
1. 密度浮ひょう 2. 比重浮ひょう 3. 酒精度浮ひょう 4. 重ボーム度浮ひょう 5. 日本酒度浮ひょう
6. 以下の対象についても JCSS ロゴ付の校正がおこなえます ※比重からの換算
6-1. 軽ボーム度浮ひょう 6-2. 牛乳度浮ひょう 6-3. しょ糖度浮ひょう 6-4. API 度浮ひょう 6-5. トワッデル度浮ひょう
- ※メーカートレーサビリティ校正 (従来型)
従来通りのメーカートレーサビリティ校正についても引き続きおこないます
計量法で決められた検査液による比較法での校正をおこないます。ただし、JCSS のロゴは付きませんのでご注意ください。
どんなことでもお気軽にご相談・お問い合わせください。
【会社概要】
本社 東京都台東区秋葉原 3-7 横田ビル 2F
TEL : 03-3251-7088 (代) FAX : 03-3251-7084
工場 東京都足立区大谷田 3-8-22
TEL : 03-3605-6405 FAX : 03-3605-6402

校正手法の区分の呼称	種類	校正範囲	最高測定能力 (信頼の水準約95%)
圧力計	気体ゲージ圧力	20 kPa 以上 1000 kPa 以下	0.010 % 又は 4.5 Pa のうち大きい方の値
	液体ゲージ圧力	0.5 MPa 以上 100 MPa 以下	0.020 % 又は 0.70 kPa のうち大きい方の値
機械式圧力計	気体ゲージ圧力	10 kPa 以上 1000 kPa 以下	最大測定圧力の 0.2 %
	液体ゲージ圧力	0.1 MPa 以上 250 MPa 以下	6 kPa 又は最大測定圧力の 0.2 % のうち大きい方の値

旭計器工業 (株) (楠輝雄社長) 校正事業部は、2013 (平成25) 年5月23日に、約6年の月日をかけて圧力区分の JCSS 校正事業者として登録された。認定登録番号は 0301。旭計器工業は、1916 (大正5) 年6月に大阪市港区に圧力計およびガス調節機器の製造販売を目的として創業した。たゆまぬ研究と努力を重ね、圧力計総合メーカーとして事業を展開している。近年、産業をとりまく環境の変化はめざましく、圧力計は装置産業を始め、あらゆる産業におけるシステム化、高度化、無人化、デジタル化となり、その用途が広がり重要性もますます高くなってきている。近年広く浸透してきているのが測定の不確かさであり、顧客からの問い合わせも増加したことから、2007 (平成19) 年から JCSS 登録向け準備を始め、約6年かかって、2013 (平成25) 年5月23日付けで同社校正事業部は JCSS 校正事業者として登録された。従来より圧力計の設計、製造および校正を中心に業務をおこなってきたが、近年、計測器管理に対応するためのトレーサビリティ証明の要求が圧力計においても増えているなかで JCSS 制度が必要不可欠となり、今後もニーズが増えることを見込み、圧力計メーカーとして JCSS 登録に向けて、全社を挙げて取り組んだ。従来から ISO9001 を取得していたが ISO / IEC17025 で要求されている技術的要求事項についての知識が不足していたために、要求事項および不確かさについて理解することから始めた。また ISO / IEC17025 は組織の独立性を求められることから、校正事業部として本社の組織から独立させることに対応した。校正事業部の要員は同社での業務を兼任していることから、外部および内部からの圧力を受けにくい体制を整えることに大変苦慮した。機械式圧力計の校正については従来から実施していた校正方法を基に手順書を作成し、運用することができた。重錘形圧力計の校正においては従来、計量法基準器検査規則に沿った校正方法の知識がなかったが、圧力比較の連鎖を実現するためにクロスフロート法を採用した。不慣れな手法であったことから、クロスフロート法での校正手順の確立、手順書の作成、さらに校正における不確かさ要因を特定し、算出するまでに多くの努力を費やした。旭計器工業の今後の展開として、圧力の JCSS 登録事業者は、17 事業者 (2013 年10月現在) と他の量に比べると少なく、その中でも機械式圧力計 (液体ゲージ圧力) の校正を 250MPa まで対応しているのは3事業者のみであることから、今後は圧力計メーカーである長をを活かして、校正証明書付き圧力計の販売や迅速な修理、調整、校正サービスを展開することで、幅広い顧客ニーズに対応していく。また、関西方面の圧力計メーカーからの校正依頼を中心に業務を進め、関西圏での JCSS 校正事業者としての代名詞となるよう業界への JCSS 校正の普及活動を展開することで市場の拡大をおこない、社会に貢献したいと考えている。

計測機器校正と JCSS 制度を利用するための利用者向け WEB サイト

日本計量新報社が JCSS 制度 JCSS 事業者を支援する WEB サイトをオープンしました。

<http://www.keiryokeisoku.co.jp/jcss/jcssweb.htm>

創業・専保16年(1731年)計量・計測機器専門総合商社

- 産業用 (鉱工業、農業、水産、食品全般) ●試験研究用 (試験分析、etc)
- 商業用 (スーパー・ストア生産・販売管理用、etc) ●一般計量全般、工業計測器、産業用プリンター、自動計量・包装機 その他、計量・計測関連自動化・省力化システム全般
- ISO/IEC17026 (JIS Q 17025) : 2005 対応の質量・JCSS 校正証明書発行業務

当「質量校正」は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0296は、当「質量校正」の認定番号です。

【計量・計測、包装、物流システム・計量管理コンサルタント】

塩崎商衡株式会社
URL <http://www.do-guya.co.jp>

取締役会長 塩崎利平 一般計量士
代表取締役社長 塩崎吉康 一般計量士

本社 / 〒933-0929 高岡市木舟町 70
TEL0766-25-0038 FAX0766-25-1120
IP 電話 050-7528-2101

営業 / 〒933-0942 高岡市川原町 1-8
技術部 TEL0766-25-0048 IP 電話 050-7505-5416
校正室 / 〒933-0914 高岡市小馬出町 85
TEL0766-25-0198 IP 電話 050-7505-5416

正確な質量測定のために

JISマーク付分銅
特殊分銅
JCSS分銅校正・おもり校正
JCSSはかり校正

株式会社 村上衡器製作所

〒535-0005 大阪府東区赤川2丁目10-31
TEL (06)9328-7571 FAX (06)9328-1099
<http://www.murakami-hoki.co.jp/>
E-mail sales@murakami-hoki.co.jp

見本・JCSS 特集紙面

4

5

6

7

8

9

10

11